品人 店技

ファイル 65
取材日 H25.4.12

中国茶家 香里（しゃんり）

所在地：横手市婦気大堤字下久保138-6
TEL.33-8294 FAX.33-8294
【創　　業】平成20年
【従業員数】1名
【営業時間】11：00～17：00
【定 休 日】木曜・日曜
【取 扱 品】台湾茶・中国大陸茶

プロフィール
小松　のり子
役　　職：店主
生年月日：昭和29年4月2日
特　　技：料理、お茶の講習
趣　　味：映画鑑賞、二胡
出 身 地：横手市

閑静な住宅街の中にひっそりとたたずむ『中国茶家 香里（しゃんり）』。隠れ家のような店構えにワクワクドキドキしながらドアを開けると、初めて訪れたお店なのにどこかホッとさせられる雰囲気でした。そのアットホームな秘密に迫ります。

中国茶をメインにしたカフェって珍しいですよね。

そうですね。秋田県内ではうちのお店だけですね。お店では主に中国茶とランチをお客さんに提供しています。

来ていただいたお客さんにゆったりとした時間を過ごしていただける『おうちカフェ』を目指しています。

お店の名前は何と読むんですか。

香里と書いて中国読みで『しゃんり』と言います。お茶の香りの発祥地という意味をこめてつけたんですよ。

このお店では何種類のお茶が楽しめるんですか？

烏龍茶のほかに中国の緑茶や紅茶もあるので30種類ぐらいはあると思いますよ。

▲いろいろなお茶が楽しめる

中国茶って烏龍茶の他に緑茶や紅茶もあるんですね（驚）中国茶を深く知ろうと思ったきっかけはなんですか？

幼い頃からお茶は大好きでしたが、あるとき知り合いから中国茶をもらったのがきっかけでしたね。中国茶そのものが持っている素材の味と香りに癒されたんですよ。

（一番身近な中国茶と言えばペットボトルの烏龍茶だ・・・と思うスタッフ（涙））

一度、ゆっくりと味と香りを楽しめる中国茶を飲んでみたいです！

では、飲んでみますか？

えぇーいただいてもいいんですか？（喜）ありがとうございます。

わぁーいい香りですね。なんだか今まで飲んでいた烏龍茶とは全く違いますね。とってもおいしいです！

現代人は忙しくてお茶をゆっくり楽しむ余裕がないですからね。癒されますよ（笑）

お茶は中国から仕入れているんですか？

そうですね。本場のものを仕入れていますが産地にはこだわっているんですよ。低農薬栽培や手摘みの収穫方法を行っている地域からお茶を取り寄せていますよ。やっぱり口に入るものだし、安心・安全を一番に心掛けています。

それだと安心して飲めますね。ところで、中国茶の淹れ方はどこで勉強されたんですか？

東京で約2年半勉強しました。横手から夜行バスで月2回通ったので大変でしたよ。でもそのおかげで今、茶藝師（ちゃげいし）初級の資格も持っているんですよ。

茶藝師（ちゃげいし）？

中国茶をおいしく淹れることができ、また教えることがでる資格ですよ。

すごいですね。では、ズバリおいしいお茶を淹れるポイントを教えて下さい。

そうですね～。ポイントはお湯の温度と茶葉の量、抽出時間ですね。烏龍茶などは沸騰したお湯をすぐ入れるのではなく少しだけ冷ましたお湯を入れるほうがおいしくなります。マグカップですと3～4gぐらいの茶葉で一分弱ぐらい抽出するのがおススメですよ。

なるほど～ありがとうございます。中国茶の他にもランチやお茶菓子もあるんですね。

食材はなるべく旬のものを使ってランチメニューを作っています。今、評判が良いのが『あんこ巻』ですね。

▲「おこわのランチ」

▲「あんこ巻」

昔、横手では『はし巻き』というお好み焼きが売られていたんですが、それをイメージして作ったのが『あんこ巻』です。あんことチーズが入っている当店オリジナルの茶菓子なのですが、「懐かしい」と言って喜んでくれるお客さんも多いんですよ。

わー おいしそうですね。ところでこのお店の小物や雰囲気はなんだかぬくもりがあって素敵ですね。

ありがとうございます。実はこの壁、自分で塗ったんですよ。

えぇ!!（驚）

私、裁縫とか苦手なのですがちょっとした大工仕事は好きなんですよ（笑）

かっこいいですね！

珪藻土（けいそうど）の壁は部屋が明るくなりますし、自然のものなのでクロスより体にいいかなと思って塗ってみたんですよ。

▲お店の隅々まで手作りの暖かさを感じる

それでは、今後の展望を教えてください。

中国茶っていろいろ種類があるので、多くの人にその良さを知ってもらいたいと思ってます。また横手産の食材を使って女性ならではの料理などを発信できたらなと思っています。

そうですね。小松さんのようなパワフルな女性が横手で活躍されていると私たちもうれしいです。

お忙しい日々をお過ごしのようですが休日は何をされて過ごしていらっしゃるんですか？

数年前から二胡を習っているんですよ。

二胡ですか（驚）珍しいですね。

同じ弦楽器でもバイオリンとはまた違う二胡の音色が好きで始めたんですよ。言葉のとおり2弦の楽器なので簡単かな～と思って始めたら難しくて・・・ うまく弾けるようになったらぜひ聴きにいらしてください（笑）

はい。ぜひとも伺わせてください！

お茶を心から愛し、一緒に楽しんでもらいたいという気持ちがお店のあちらこちらから感じ取れる素敵なお店でした。また、店主小松さんの心遣いに私たちスタッフも癒されました。